

急性大動脈解離に対する弓部大動脈人工血管置換術後の中長期治療効果の評価に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年9月2日～2026年3月31日

〔研究課題〕

急性大動脈解離に対する弓部大動脈人工血管置換術後の下行大動脈残存偽腔のリモデリング評価

〔研究目的〕

急性大動脈解離に対する弓部大動脈人工血管置換術後の下行大動脈の形態変化を3DCTによって評価します。

〔研究意義〕

急性大動脈解離の術後に、残存した偽腔(病変)が経時的に拡大することで、追加治療が必要になることがあります。弓部大動脈人工血管置換術は大動脈解離に対する拡大手術であり、遠隔期の追加治療を減らす可能性が示唆されており、弓部大動脈人工血管置換術後の下行大動脈に残存した偽腔の形態変化を評価することで、弓部大動脈人工血管置換術の治療効果を判定します。

〔対象・研究方法〕

2010年1月から2022年12月まで急性大動脈解離に対し、弓部大動脈人工血管置換術を施行した患者様の術後に撮像したCT検査結果を3D解析し、残存した偽腔の体積を測定します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 心臓血管外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

資料は個人情報that分らなくなる様に加工を行い、資料はパスワードでロックされたPCに保存し、研究責任者もしくはデータ管理責任者(齋藤真人)のみのアクセス可能とします。データ解析後は外部への漏出が無いように当医局の外付けHDへ保存します。以後10年間帝京大学臨床研究センター(TARC)に保管の後、すべて破棄されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者: 氏名 下川智樹 職名 主任教授
研究分担者: 今水流 智浩(教授)、齋藤真人(助手)
所属: 帝京大学医学部附属病院心臓血管外科
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 16177]